

# 朝鮮語専攻

🌐 朝鮮・韓国の言語や文化、社会に関する専門的な知識を身につけたい人。朝鮮語でコミュニケーションする能力を身につけたい人。日本と朝鮮・韓国間の相互理解を深める架け橋になりたい人。現地でも勉強してみたい人。



民族の聖山 ベクトルサン 白頭山(標高2,750m) 山頂の天池(最深部384m) チョンジ

受験生のみなさんに、朝鮮語専攻の教育課程、学生の海外留学と卒業後進路について、簡単ではありますが、案内いたします。

教育課程の基本的内容は、学年別にみると次のとおりです。

1年生と2年生は、朝鮮(南北朝鮮)の言語の習得が中心です。朝鮮語の音声組織、文法構造、語彙の習得が朝鮮語実習としておこなわれます。これとともに、朝鮮の言語文化と、近現代の歴史・社会のそれぞれについて、講義があります。3年生と4年生は、朝鮮語の語学力そのもののさらなる向上のために朝鮮語演習があります。これと同時に、朝鮮語を基底とした言語・文化・文学についての講義が進められます。3・4年生ではさらに言語・文化・文学の演習があります。これらの演習では、学生自身が言語・文化・文学の中からタイトルとテーマを設定し、学習、研究を進めます。4年生は、卒業するためには、卒業論文を作成しなければなりません。

朝鮮語専攻の学生は、以上のような教育課程を履修しながら、3、4年生になると海外留学する人が少なくありません。留学先はさまざまですが、大韓民国が中心です。留学先大学での修得単位が、本学での修得単位として認定されることが可能な場合があります。

学生の卒業後の進路は、朝鮮語専攻の前身である大阪外国語大学朝鮮語学科以来、多くの卒業生が商社、販売流通、金融、マスコミ、国際交流、公務員(一般、教職、外務など)その他各界で活躍しています。この就職先の傾向はここ数年も基本的に変わっていないようです。卒業生の中には、大学などで研究に携わっている人もいます。

以上が、朝鮮語専攻の教育課程、学生の海外留学と卒業後進路の概略です。

受験生のみなさん、朝鮮語専攻に入学されることを期待しております。

「アンニョンハシムニカ」

## 안녕하십니까?

学生の声 

2年 津田 瞳

안녕하세요! 受験生のみなさんこんにちは! 突然ですが、朝鮮語がどんな言語か知っていますか? 早くて何言ってるのかわからないと思った人もいかもしれませんが、実は日本語とかなり文法や単語が似ているとても学びやすい言語なんです。発音は難しいですが、述語が最後にくるし、読み方が日本語と近い単語も多くあるので楽しく習得できます。

また、大阪大学は多くの韓国の大学と協定を結んでいて、国際交流が盛んです。もちろん自分が留学できるチャンスも十分にありまして、仮に留学しないにしても大阪大学にはたくさんの韓国人留学生が来ているので、交流することができます。ちなみに、私は1年生の時、タンデム学習プロジェクトというものに参加して韓国人の友人ができたことで、もっと韓国について知りたいと思い、学習意欲も高まったので、積極的に交流していけば勉強も大学生活もどんどん楽しくなっていくと思います。

外国語学部に入ると勉強が大変だと感じることもありますが、私は楽しいと思うことの方が多いです。2年生になってからは朝鮮半島の歴史や文化など様々な分野を学べるようになるので非常に面白いですし、素晴らしい先生方に教えてもらえて、かつ国際交流の機会も多い、本当に恵まれた環境だと思います。来年朝鮮語専攻でみなさんとお会い出来ることを楽しみにしています。



留学体験記 

4年 石田 早紀

2016年3月から10ヶ月間、韓国・ソウル国立大学に留学していました。期待半分、不安半分で韓国に降り立った日は、現地で記録的な大雪を記録した、まさにその日でした。交通機関が乱れ、入寮時刻に間に合わないかもしれないという、初日からのトラブルで、心が折れそうになったのを覚えています。しかし、そんな苦い思い出も今では笑い飛ばせる程、韓国では充実した日々を過ごしました。

大学の授業では、韓国語に加え、かねてより関心のあった、国際開発協力、舞台芸術、宗教などについて学び、知的好奇心が満たされる日々でした。猛烈に勉強するソウル大生に刺激され、必死に課題をこなす中で、ふと自分の成長を感じることが幾度もありました。

また海外留学の醍醐味の一つに、友達作りがあるかと思います。ソウル大学には有名な留学生サークルがあり、大阪大学の先輩方も殆どが所属していたと聞いています。韓国に留学したら、韓国人の友人しか出来ないのではと思われがちですが、このサークルを通して色々な国の友人が出来ます。旅行やテンプルステイなどのイベントを通して、世界各国の友人とのかけがえのない思い出が出来ました。

留学に憧れる一方で、不安が付き纏うのは自然なことです。自信の無さから諦めてしまうのは非常に勿体無いと思います。大丈夫、現地に行ってしまうれば何とかあります! 一度きりの大学生活、自分の気持ちに正直に、楽しみ抜いてください。

